

新型インフルエンザについて

余市医師会 理事 小嶋研一
会長 永井文作

新型インフルエンザが日本国内でも人から人への感染が認められました。5月18日現在約140名の感染者が報告されております。今回の新型インフルエンザは報道でもいわれているように弱毒性で季節性インフルエンザと病原性は変わる事なく感染したらすぐさま死につながる危険性はないものと思われま

す。しかし今後新型インフルエンザが全国的に広がる事は、決して保健衛生上国民の皆様にとりましても良い事ではありません。発熱、咳などの風邪症状を訴える方々のなかにも今回の新型インフルエンザに感染発症している可能性も否定できません。

海外からの帰国後、感染の可能性が思い当たる方や、現在国内では関西方面に感染者が認められており、5月以降関西方面に旅行した後に38℃以上の発熱があり、風邪の症状がある場合は倶知安保健所(0136-23-1951)の発熱相談窓口に連絡して指示を受けて下さい。

また、かかりつけの医療機関のある方は電話にて主治医に相談するようにしてください。

現時点では海外旅行、関西方面に旅行をしていない方々は、新型インフルエンザ感染の可能性は低いので、マスク着用のうえかかりつけ医療機関を受診して下さい。症状によっては簡易インフルエンザ検査を行います。A型インフルエンザ陽性となった場合、医療機関から保健所に連絡のうえ指示を受けます。その後はウイルス等精密な検査を行い、結果が出るまでは後志地区感染症指定医療機関の倶知安厚生病院受診の上、感染病棟に入院となることもあります。

予防策は、従来のインフルエンザと同じで外出時にはマスクを着用し、帰宅後の手洗い、うがい(イソジン等の嗽用剤が望ましい)を徹底して下さい。

万が一、余市地区でも感染者が認められた場合は、外出を控え、集会なども自粛することになります。マスクの着用は感染予防ばかりでなく、感染の拡大防止にもつながります。

治療についてはタミフル、リレンザ等の抗インフルエンザ薬が効きますので通常のインフルエンザと病気としては同様と考えて下さい。

あまりこわがらなくてもよろしいのですが、予防を心がけ、外出時のマスク着用、うがい、手洗いの徹底をお願いいたします。